



No. 61

### 「平生町国民保護計画」を作成します

米国同時多発テロや武装不審船の事件が発生するという情勢を踏まえ、平成16年に国民保護法が制定されました。国民保護法に基づいて、昨年は県が「山口県国民保護計画」を作成し、平生町においても本年度に「平生町国民保護計画」を作成することとしています。計画を作成するにあたり、「平生町国民保護協議会」に諮る必要があるため、第1回目の会議を、8月3日に町役場第3庁舎会議室で行い、国民保護法制、平生町国民保護計画（素案）について協議しました。



### 民生委員児童委員を委嘱

8月23日、厚生労働大臣から民生委員児童委員への委嘱状が、町長より浅海和枝さんに伝達されました。

これは、故浅海克子さんの後任として委嘱されたもので、担当地区は黒羽根、東魚見、西魚見地区です。身近な福祉の相談相手としてこれからの活躍が期待されます。



「美しい海。母なる海。しかし、それは二度と陸を踏むことをゆるさない、出口のない海でもあった。…(略)…五号艇発進用意！ 死の号令が脳を突きぬけた。(来た！) 並木は体をよじって発動桿をぐっくにぎった。」(本文より)。人間魚雷「回天」をテーマにした横山秀夫原作の『出口のない海』の映画が、いよいよ今月16日から全国一斉に封切られます。過日、その試写会に招かれて鑑賞する機会を得ました。私は、実際に撮影で使われたこの「回天」とは、制作直後、周南で実施された海上テスト時点からの「つき合い」で、平生に連れて帰るまで、ずっと見守ってきました。合間を縫って、下関の口ヶ現場にも足を運び、伊号潜水艦の甲板に搭載され

成に復活の夢を託すものの、戦争が容赦なく若者の夢と運命を飲み込んでいく。やがて、海軍に志願し、「回天」の搭乗員へ。生と死の意味を問いつつながら、特攻の壮絶な使命に突き進む青年の姿を描くものです。さすがに、極限状況の下で操縦桿を握るシーン

## 『出口のない海』雑感

流館」前に設置して以来、マスコミでも話題となり、その効果もあって来館者数は激増。展示後、わずかに2カ月で、昨年1年間の総数を突破し、今年も現在まで、5千人を越えています。おかげで、交流館の指導員はその応待に追われ、多忙をきわめるなど、う

たオープンセットも覗いてきました。それだけに、映画の完成を一日千秋の思いで待ち望んでいました。主演の市川海老蔵さんの抜群の演技力もあって、実に感動的な作品に仕上がっています。

ストーリーは、かつての甲子園優勝投手が「魔球」の完

には胸が締めつけられる思いでした。1人でも多くの人が、この映画を鑑賞され、戦争のもたらす狂気と不条理、同時に、命の尊さと平和の大切さを読みとって欲しいと思います。

ところで、この「回天」を今年1月、本町の「阿多田交



れしい悲鳴です。こうして今や、この交流館は平和学習の“拠点”として町内外から認知されつつあることを実感しているところです。映画の公開にあわせて、平生町観光協会によるパネル展示も実施されています。今後一層、注目度も高まるでしょう。この機会に是非、あなたのご来館、ご来町をお待ちしています。

山田 健一